

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年6月7日

計画の名称	男鹿市における良好な水環境の実現									
計画の期間	平成27年度 ～ 平成29年度 (3年間)	交付対象	男鹿市							
計画の目標	秋田県生活排水処理構想に基づき、暮らしをとりまく水環境について、下水道整備により水質を保全し快適な暮らしの実現を推進する。									
計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道処理人口普及率を63.9% (H27当初) から66.2% (H29末) に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)				
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人)				63.9%	65.5%	66.2%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,092百万円	A	1,092百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
男鹿市下水道事業担当課により事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施。	計画期間終了後 (平成30年6月)
	公表の方法
	男鹿市のホームページにて掲載する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31				
1-A1-1	下水道	過疎	男鹿市	直接	-	汚水	新設	浦田地区管渠整備	汚水管φ150mm L=2000m	男鹿市						256.00	
1-A1-2	下水道	過疎	男鹿市	直接	-	汚水	新設	女川地区管渠整備	汚水管φ150mm L=3300m	男鹿市						370.00	
1-A1-3	下水道	過疎	男鹿市	直接	-	汚水	新設	緑ヶ丘地区管渠整備	汚水管φ150mm L=450m	男鹿市						45.00	
1-A1-4	下水道	過疎	男鹿市	直接	-	汚水	新設	樽沢地区管渠整備	汚水管φ150mm L=3400m	男鹿市						340.00	
1-A1-5	下水道	過疎	男鹿市	直接	-	汚水	新設	百川地区管渠整備	汚水管φ150mm L=3400m	男鹿市						30.00	
1-A1-8	下水道	過疎	男鹿市	直接	-	汚水	全種	施設計画の見直し	効果的事業計画の策定	男鹿市						51.00	
											合計	1,092.00					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H22	H23	H24	H25	H26				
											合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> <li>・男鹿市の住みよい住環境及び水質保全の実現に寄与するため、計画的かつ効率的に下水道を整備することで、下水道処理人口普及率の目標を達成した。(下水道処理人口普及率が5.7%増加)</li> </ul>								
II 定量的指標の達成状況				指標①(下水道 処理人口普及 率)	最終目標値	66.2%	目標値と実績値 に差が出た要因	下水道処理人口普及率は、目標値を上回って達成できた。				
					最終実績値	69.6%						
				最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因						
				最終実績値								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)												
3. 特記事項(今後の方針等)												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画においては、定量的指標を達成することが出来た。</li> <li>・今後は、人口減少社会の到来等社会経済情勢の変化を踏まえた適切な汚水処理計画に基づき、引き続き計画的かつ効率的に汚水整備を行い、生活環境の改善、公共用水域の水質保全等、男鹿市の住みよい住環境及び水質保全の実現に寄与していく。</li> </ul>												